

第6回 相原駅東口まちづくり検討会 会議要旨

場 所：堺市民センター ホール

日 時：2015年2月18日（水曜日） 19時00分～20時30分

出席者：地 権 者 等：14名

町 田 市：地区街づくり課 望月課長、吉原担当課長、加藤係長、
森本、秋葉

道路整備課 北原係長、荒木係長、市川担当係長、
石川担当係長、岡、高橋、増田

建設総務課 日比野係長

コンサルタント：（株）住宅・都市問題研究所 平井、小倉

<次第>

1. 議事

- (1) 地区の状況と町田街道立体化事業について
- (2) 相原駅東口アクセス路案の集約図について
- (3) 相原駅西口の用途地域等変更（案）と東口の街の将来イメージ（案）について

<配布資料>

- 資 料
1. 東口アクセス路案の集約図
 2. 西口地区の変更（案）後の相原駅周辺の用途地域図
 3. 街の将来イメージ（案）

1. 議事

(1) 地区の状況と町田街道立体化事業について

地区の状況として、現在の道路の位置と道路幅員の状況及び町田街道立体化事業の概要について説明を行いました。

(2) 相原駅東口アクセス路の集約図について

前回まで3つのルート案で検討していましたが、今回は検討会やその他の場で今まで出てきた意見を集約した9つのルートを示して説明を行いました。

(3) 相原駅西口の用途地域等の変更（案）と東口の街の将来イメージ（案）について

2015年4月に予定されている相原駅西口の用途地域等の変更（案）とアクセス路整備後の街の将来イメージ（案）について、説明を行いました。

＜検討会での主なご意見＞

東口と町田街道を結ぶ新たな道路（アクセス路）のルートについて

- （意見） 今回示されているルートは、全て実現できる可能性があるかと受け取って良いのか。
- （意見） 安全上や構造上詳細を検討していないルートを示し、結果として出来ないとなったら、示す意味がないのではないか。
- （市の答え） 前回まで3つの案で検討を進めてきましたが、他の案も検討すべきと意見をいただきました。そのため、改めてルートを考えた時、街づくりとしてどのルートが地域として良いかをお聞きするために、今回は、今までの検討会などで意見として出てきたルートを示しています。どのルートかに絞り込むのではなく、それぞれのルートについて意見をお聞きしたいと考えています。その意見を市で受け取らせていただき、技術的な検証と実現性について市で今後確認をさせていただきます。
- （意見） 東口と町田街道を結ぶ新しい道路は、⑥のルートで町田街道と平面交差する形が良いと思うがどうか。
- （市の答え） ⑥のルートは、町田街道の坂道の途中に交差点を設けることになるため、交通安全上の課題もでてきます。また、交差点に面することになる敷地は、宅地の地盤面を下げるか、擁壁が必要となり出入りがしにくくなります。さらに、境川が近くに流れているため、宅地の地盤面を下げるのには水害の面から不安があるなど、⑥のルートは非常に難しく、非現実的な案とお考えいただきたい。
- （意見） ⑥のルートで町田街道と平面交差することについて、根拠をもった形で次回に分かりやすく示して欲しい。
- （意見） ⑥のルートについて、出来ないことを示すのではなく、どのようにすれば実現できるか資料を作ってほしい。難しいことは分かるが、実現できるように東京都と折衝してもらいたい。
- （市の答え） ⑥のルート及び陽田川を通るルートである⑤や⑨についても、技術的、構造的な検証をさせていただきます。また、検証のために場合によっては、皆様の敷地を測量をさせていただくことも考えています。
- （意見） ⑥のルートについて、東京都はどのように回答しているのか。
- （市の答え） 難しいという回答をいただいています。

- (意見) 町田街道の立体化事業により、東口入口交差点から車の出入りが出来なくなる。この新たなアクセス路は、東口地区に住んでいる人を想定しているのか、駅を利用する人を想定しているのか。
- (意見) 町田街道と駅東口が繋がらなくなるので、誰かが土地を提供し、道路を通さなければならない。また、市民センターへのアクセスも新たに必要になる。目の前に広がる町田街道に入れなくなることを、もう少しきちんと説明すべきではないか。
- (市の答え) 新たなアクセス路は東口に住んでいる方々も含めて、地域の方々にとって望ましい道路を考えています。このアクセス路が無ければ、仲町地域や陽田地域の方は、大戸方面への行くためには現在と比べて遠回りする必要があります。また市民センターへのアクセスについても考える必要があります。
- (意見) 市民センターへのアクセス路は、現在の郵便局の部分しかないと思う。郵便局やわずかな商店も失うこととなるので、代替場所をきちんと提供してから検討を進めるべきではないか。
- (意見) 市民センターは貴重な場所であり、その前に郵便局があるのは便が良い。この市民センターは公共施設として、近隣施設とリンクしながら残ってほしい。
- (意見) ⑧、⑨のルートは、大戸方面から来て、駅前や市民センターへと考えると理想的ではないか。
- (意見) 現在、小学校の通学路としてガードレールが設置されており、それで十分足りている。新たな道路は歩道2.5mとしているが、必要性はあるのか。
- (市の答え) 各ルート等の検証を行い、まちづくりとして整理していきます。

東口と町田街道を結ぶ新たな道路（アクセス路）以外の道路網整備について

- (意見) 今も地区内では道が狭く、緊急車両が止まっていることが出来ない状況である。通過交通が増えて生活環境が悪化するかもしれないが、多少の犠牲を払ってでも、この状況は解消していかなければならない。
- (意見) 駅前でありながら相互通行ができないので、①のルートや③のルート、⑥のルートはアクセス路に関係無く拡幅すべき道路ではないか。また、町田街道にアクセスする道路は何本あっても良いのではないか。
- (意見) この地区に住んでいる人達は、駅まで徒歩だが、相模原方面の人達は吉田橋から徒歩や自転車でのアクセスとなるので、アクセスしやすいようにした方が良い。
- (意見) 道路の話は補償の話もリンクさせないと住民は納得しないのではないか。ただ道路をつくるだけではまちづくりであって、まちづくりではない。
- (市の答え) まちづくりとして、みちとまちを一緒に考えていく中で、どのような形が良いか考えていければと思っています。

地区のまちづくりについて

- (意見) まちづくりとして、相原をどのようにしたいのかというコンセプトが見えない。コンセプトが明確に見えてくれば、おのずとどのような道路が必要か見えてくるのではないか。
- (意見) 日常生活に必要な利便性があるお店は無ければ困る。色々な人が共生するこの地区のまちづくりについて、市から提案してもらい、議論を進めていくと、道路づくりも自然にできるのではないか。道路も、生活の最低限の広さを確保し、安全性や安心性を含めることができれば良いので、その点も次回説明して欲しい。
- (意見) 今日出席している人は一部であり、どのような道ができるか知らない人もいる。メリット・デメリットを示した上で、地区住民の意見を聞いて（アンケート）進めるべきだ。
- (意見) 相原には若い人が定住しない。若い人たちが定住するような街にするためには、駅周辺は若い人たちにも魅力を感じるような高層の建物を建てられる都市計画にして、一步出れば自然が残り住宅地が広がる街が良いのではないか。
- (市の答え) 本日いただいた意見を整理した上で、今後のまちづくりを検討していきます。

以上